

## 平成28年度第1回千歳市中小企業振興審議会 開催概要

日 時 平成29年1月25日（水） 10:00～11:30

場 所 議会棟大会議室

出席者 千歳市中小企業振興審議会委員（11名）  
入口委員、力示委員、石川委員、加藤委員、山本委員、本村委員、今野委員、  
西澤委員、林委員、後藤委員、井手委員  
事務局（5名）  
産業振興部次長、商業労働課長、商業労働課商業振興係長 ほか

会議次第

1 開 会

2 委嘱状交付

3 副市長挨拶

4 議 事

（1）報告事項

- 報告第1号 千歳市を取り巻く経済等の概況について （別冊1）
- 報告第2号 千歳市中小企業振興融資について （別冊2）
- 報告第3号 第2期千歳市商業振興プランについて （別冊3）
- 報告第4号 創業支援事業計画について （別冊4）

<報告抜粋（第1号）>

・人 口

平成29年1月1日現在、96,384人、世帯数は47,894世帯となっており、平成27年では、転入者数が転出者数を上回り、当市の人口増加の要因と言える。

・雇用情勢

平成27年度平均の千歳圏(恵庭、夕張地区を含む)の有効求人倍率は、0.91倍と前年度を0.1ポイント上回り、当市の雇用情勢は、全国と比較して差はあるものの、緩やかな回復となっている。

・観 光

平成27年度の観光客入込数は、509万9,500人であり、対前年度比9.0%増となっている。  
主な要因としては、市街地地区では、「道の駅サーモンパーク千歳・サケのふるさと千歳水族館」のリニューアルオープン、支笏湖地区では、氷濤まつりの天候が恵まれたことが挙げられる。

また、平成27年の新千歳空港乗降客数は、円安や免税対象品目の拡大等を背景に、アジアを中心とした外国人観光客が増加傾向で推移し、過去最高となる2,045万人(対前年比6.2%増)を記録し、開港以来、初めてとなる2,000万人を突破した。なお、平成28年についても、2年連続で2,000万人を突破し、記録を更新した。

#### ・工業

平成26年の工業統計調査結果によると、工業数は96工場、従業員数は7,020人、製造品出荷額等は約2,455億円であり、出荷額は全道第4位となっている。業種別では食料品、電子部品・デバイス・電子回路の割合が高くなっている。また、企業誘致実績について、平成27年度は6社であり、平成28年については、現時点で、8社の立地となっている。

#### ・金融

預金額、貸出金額ともに緩やかな増加を続けている。

#### <報告抜粋(第2号)>

千歳市中小企業振興融資制度は、市内中小企業への支援として(千歳市中小企業振興条例などの規定により)、市内6金融機関に融資原資を預託し、各金融機関は、運転資金など6つの資金の融資を行っている。

平成27年度の融資実績については、預託総額5億5千万円、融資決定件数127件、融資額合計約7億4千万円となり、年度末時点での貸付残高は、383件(対前年度比41件増)、約12億1千万円(対前年度比8,300万円増)である。

また、平成28年11月末実績85件の内訳は、「運転資金」36件、「設備資金」8件、「新規開業支援資金」5件、「小規模企業貸付金」1件、「小口企業資金」35件となっている。

資金別に見ると、「小口企業資金」は、主に小規模企業者に対して事業に必要な資金調達の円滑化と経営の安定化に寄与することを目的に、平成20年に創設しており、平成26年度で37件、平成27年度で49件、今年度も11月末時点で35件と順調に推移している。

また、当市が全額補給している保証料額については、平成28年11月末実績で約663万円である。

セーフティネット保証について、平成24年度下期以降、業況が改善した業種は保証対象外となり、平成27年度の認定件数は5件となっている。なお、平成28年については、現時点で2件である。

#### <報告抜粋(第3号)>

市では、平成23年度から27年度にかけ、「商業振興プラン」に基づき、様々な取組を行ってきたが、商業を取り巻く環境は、情報化の浸透や少子高齢化等を背景として、消費者ニーズの多様化が進むなど大きく変化しているため、商業者の活力を生かすための目指す姿や基本目標を定めた「第2期商業振興プラン」を策定した。

本プランの策定にあたり基礎調査として、16歳以上の市民2千人を対象として平成27年4月に「市民アンケート」を実施し、また、高校生及び大学生座談会、市の若手職員によるタスクフォースなどから幅広い意見を求め、市民の意識・意見を勘案し、市の商業振興に向けた課題と対策について、①個店、②商業者、③商店街、④中心市街地の4点に区分し抽出することで、商業振興の方向性を定めた。

商業振興の目指す姿として「活力が共鳴する新たな機会と機能の形成」と位置づけ、中心市街地をはじめ市全域において、商業者一人ひとりが持っている活力を連動させ、また、行政や関係機関も商業者の活動を支援し、市民や観光客等に対する商業施設の新たな利用機会の提供・商業機能の充実を図り、商業環境に対応していくこととする。

また、今後の商業振興に向けた4つの方向性を基本目標としている。

基本目標1は、「個店の魅力向上」であり、主な取組は、「個店の積極的な情報発信」、「付加価値の高い商品の開発等」、「既存の事業者や創業者に対する支援」などとする。

基本目標2は、「事業者の連携づくり」であり、主な取組は、「同業者による広域的な共同事業の展開」、「コト消費による誘客の拡大」などとする。

基本目標3は、「地域特性を生かした商店街づくり」であり、主な取組は、「外国人観光客に対応した環境づくり」、「コミュニティ・交流活動を促進する機能の創出」などとする。

基本目標4は、「中心市街地としての賑わい形成」であり、主な取組は、「駐車場の利便性の向上」、「空き店舗等の解消」、「伝統や文化等に配慮したイベントの開催」などとする。

これら施策の実施には、実施計画書を策定し、市や商店街振興組合連合会、商工会議所などが役割を分担し、連携しながら進めている。

なお、現時点で、既に実施している事業は、「グリーンベルト地下駐車場の3時間無料化」、「バス路線の再編と運賃体系の変更」、「賑わい創出事業の支援拡大」及び「千歳川桜プロジェクト」など、中心市街地活性化に資する各種取組を展開している。

#### <報告抜粋（第4号）>

近年、我が国の開業率は、地方を中心に低迷している。そのため、国では、平成26年1月20日に「産業競争力強化法」が施行され、地域の創業を促進させる施策として、市区町村が民間事業者と連携し、創業支援を行う取組により、地域における創業者を支援し、開業率の向上を図ることで地域の活性化・雇用の確保を目指すこととしている。

具体的な取組は、市区町村が民間事業者と連携し、ワンストップ相談窓口の設置や創業セミナーの開催等の創業支援を実施する「創業支援事業計画」を策定し、国の認定を受けることとなっている。

市では、市内の開業率を引き上げ、雇用を生み出し、産業の新陳代謝を進めるために、創業に関する事業を体系的に推進することを目的に本計画を策定し、昨年12月26日に国の認定を受けたところである。

また、新規事業として、経営、財務などの知識を習得できる「創業支援セミナー兼創業カフェ」を実施し、同事業の受講者に対し、創業時に国の登録税の軽減などの一定のメリットを受けられる証明書を発行する。

## （2）情報交換

### <A議長>

近年、観光客の増加に伴い、市内ホテルの新築・増築が進むなど、市内経済の動きに大きな変化が見られるが、景気・雇用動向など「市内経済情勢等」について、各委員からご所見を伺いたい。

#### <B委員>

地方では全国的にシャッター街が増加している情勢の中、地域によっては成功例が見受けられ、成功の要因としては、その地域のニーズを把握しているものと感じる。当市は、全体として保守的に感じるが、現在、市内ホテルの増床に伴い、観光客が市街地を回遊するチャンスであるため、何を求め、何をすることが重要と考える。

#### <C委員>

市内で商売をされている方に話を聞く限りは、景気の回復はほとんど感じられない。当市は、人口比率に対し飲食店の割合が多いが、一部を除き伸び悩んでいる印象である。その要因は、店舗数が飽和状態にあることなどが挙げられる。

創業の相談件数について、中小企業相談所では、月1～2件程度と少なく、業種は、ネイルサロンなどのサービス業や飲食業などが多い。相談者の傾向としては、全体的に事業計画が弱く、資金難といったところである。

また、融資や相談業務を行う金融機関において、創業相談件数や市内企業の海外展開の動向などについての意見を伺いたい。

#### <D委員>

創業相談に関しては減少傾向であり、ほとんど受けておらず、不景気の伴うリスク回避思考などが要因と分析している。地方によっては、既得権が強く起業が受け入れられない印象も受けた。

また、経済情勢として、平成27年の当市の住宅着工戸数については、近隣都市と比較してもマンション及びアパート着工数の多さが特徴である。

一方、平成28年度については、マンション及びアパート着工戸数が減少しており、ハウスメーカーからの聞き取りによると、住宅等建設の需要はあるものの、住宅等を建てる土地が少ないとのことであった。住宅着工戸数が増加することは、地域経済の活性化に寄与するものであるため、今後、調整区域の拡大など住宅用地の確保が必要と思う。

#### <E委員>

市内企業において、海外展開は増加傾向にあるが、創業相談については、減少していると感じている。

また、最近の特徴としては、事業承継に関する相談が多く、後継者不足が問題となっている。大企業では、M&Aの専門機関が仲介しているが、中小企業においては、金融機関等が対応しており、今後、この部分の支援も必要となってくると思う。

#### <F委員>

創業支援について、現在の若い方は、リスクを背負ってまで創業したいと考える人が多いので、既存企業が、市外・道外・海外で稼ぎ、資金を当市に還元する方が市内経済の活性化に繋がるため、海外等の展開への支援の方が重要な取組であると考え。海外等の展開の取組により企業が潤えば、創業に対する機運も高まっていく。

#### <G委員>

中小零細企業環境は厳しく、市内では廃業が目立っているため、金融機関には、そのような状況を理解のうえ、可能な限り手を差し伸べていただきたい。

また、人材確保が困難であり、有効求人倍率がすべてではなく、フリーペーパーやチラシなどに着目いただくと実態が把握できる。市内の福祉施設を例にすると、人材不足であることから定員分を受け入れることができず、今後も状況は悪化する見通しであるため、市では、このような部分の対応をお願いしたい。

当社では、清掃・廃棄業を営んでいるが、長年、市内のゴミの絶対量が変化していない。このことは、市内だけで消費がサイクルしていると言えるため、当市の資源等を活用し、市外からの集客を図ることが必要と考える。

#### <H委員>

市の取組について、お話しさせていただく。

シャッター街及びインバウンド対応については、商業振興プランに基づき、商業者の連携づく

りを進めており、状況に応じながら事業を実施していきたい。現在、市商連内にプロジェクトチームを作り、プランの推進・検討を進めることで柔軟な対応を図っている。

住宅等建設の需要についてであるが、計画期間を平成32年度までとする「第6期総合計画」では、市街化区域については拡大しない方針であるため、次回の策定にあたって、本日の意見を参考にしていきたい。

海外展開支援として、外国人労働者の雇用については、渡航費や研修費など負担が大きいことなどの課題は認識しており、情報収集を図っていききたい。また、輸出企業については、販路拡大に向けた展示会や商談会にかかる出展料、交通費等の支援を行っているところである。

人材確保については、新たな雇用の確保が難しいため、市では、働く方の意識改革に重点を置き、個別相談の充実や、子育て世代の再就職に向けたセミナーの開催、企業向けの従業員定着率の向上を図るセミナーや情報発信などを検討しており、雇用環境の良好な形成を図っていく。

創業支援事業計画については、国の施策に伴い策定したところである。同計画は、事業を効果的に推進するため、商工会議所に認定連携創業支援事業者の役割を担っていただくほか、市内金融機関と連携して実施していく。

同計画の特徴としては、新規事業である「創業支援セミナー兼創業カフェ」を展開する予定であり、「創業支援セミナー」に関しては、経営、財務、人材育成、販路開拓をテーマとし、創業希望者・創業者に対し、専門的な知識の習得機会を提供するものであり、「創業カフェ」では、専門家との個別相談の実施や受講者同士が情報交換を行う機会を提供し、創業に対する不安や課題の解消、ネットワークの構築を図ることで創業者を支援する。

< I 委員 >

若者の雇用について、雇用促進法に基づき企業の情報公開が進んでいるが、若者は企業の未来を担う人材であるため、企業体質の改善が求められる。

< A 議長 >

当市の経済発展のポイントは、①商業振興プランに掲げる40程の取組を進めること、②市内ホテルの新築・増築に伴う交流人口の拡大として、まちの受入体制の整備、③千歳タウンプラザを核とした賑わい創出の3つが挙げられる。

課題の一例としては、賑わい創出等にあたり、千歳タウンプラザの周辺が重要であり、物販店や飲食店などがなければ全体的な波及効果は生まれにくいことなどである。各委員については、経済発展の課題や市で掲げる人口97,000人の達成などに向け、連携・情報発信が必要となる。

< J 委員 >

市内のホテルは、観光客で満室であり、飲食店等にとってはビジネスチャンスであるため、飲食店マップの作成や個店での創意工夫により集客を図っていただきたい。

景気については、横ばい・緩やかな回復傾向と言われるが、当市は、他市と比較しても住宅・アパート需要があり、若者も多く活力があるため、景気はワンランク上のように感じる。

< K 委員 >

雇用について、働く側の意識は「現状の生活維持」などが多く、欲がないため長続きしない印象を受ける。そのため、現在、ブラック企業の問題が取り沙汰されているが、企業・経営者の努力だけでなく、働く方の意識改革も必要と感じている。

5 閉 会